

草津市自立支援協議会 部会・プロジェクト活動報告

| | | | |
|-----------------|---|-----|-------|
| 部会・PJ名 | 草津市相談支援体制検討プロジェクト会議 | 報告者 | 河尻 朋和 |
| 部会長 | 園田実乗 プロジェクトリーダー | | |
| 副部会長 | 河尻朋和 副プロジェクトリーダー | | |
| 参加機関 ・ 委員 | 園田 実乗 (NPO 法人草津市心身障害児者連絡協議会理事長)、河尻 朋和 (滋賀障害者雇用支援センター：就労支援機関の代表)、黒木 稔 (地域生活支援センター風：委託相談支援事業所の代表)、大橋 栄志 (社会福祉法人若竹会：障害者支援施設の代表)、大平 眞太郎 (滋賀県障害者自立支援協議会)、中村 順子 (おひさまハウス：相談支援事業所の代表 (児童))、倉田 朋良 (草津市発達支援センター：相談支援事業所の代表 (児童))、木野 巧也 (障害福祉課 相談支援係)、國松 優一 (障害福祉課 障害福祉係)、小枝 昭彦 (草津市障害者福祉センター相談員) (敬称略) | | |
| 事務局 | 涌井 康貴 (草津市立障害者福祉センター所長)、寺嶋 博子 (基幹相談支援コーディネーター) | | |

活 動 報 告

| | | |
|---------------------|--|-------------------|
| 今年度のねらい | 令和 2 年度に検討を開始し、令和 3 年度も引き続き草津市の相談支援体制のあるべき姿について検討する。その結果をまとめ、自立支援協議会、草津市に提言する。 | |
| 回数 | 開催日時 | 参加数 |
| 第2回 (前回 7 月 7 日) | 令和3年 10 月 26 日 (火) 13 時 30 分～15 時 30 分 【会場】草津市立障害者福祉センター | 機関数:9 機関 参加数 12 人 |

【テーマ】草津市障害児者相談支援体制 報告書 (第二次提案)

【協議の概要】

- ・当初提言書という形で進めてきたが、このプロジェクトの検討結果を「報告書」という形でまとめ、草津市自立支援協議会に対し報告し、多くの関係者に読んで貰いやすくしていろいろとご意見を頂き、草津市に提案していくことになった。
- ・このプロジェクトでは、草津市の相談支援体制の全体的な体制を考える事が取り組み事項である。障害児相談については、障害者の相談支援と同様に多くの課題を有している実態をプロジェクトにおいて把握することができた。一方で、障害児の相談・支援援助については、母子保健、療育、教育などのライフステージごとに様々な機関が役割を担っており、この違う分野の連携の重要性とそれぞれがその役割を果たし、かつ、つながりを持ちながらどのように進めていくのかを別途に丁寧な検討をする場が必要であるため、報告事項に今回は記載せず他の会議等で再検討した方が良いのではないかということになった。
- ・相談支援事業は、障害のある人が望む生活を実現していくために地域の中核的な機能を果たすものである。それに対する地域の理解の重要性を訴え、相談体制の 3 つの重層的な構造別に①計画相談支援事業、②委託相談支援事業、③基幹相談支援センターを軸に、数的資料をさらに追加しそれぞれの実態の鮮明化と課題の表記を行う。
- ・計画相談を希望する人への対応のため、相談支援専門員が草津市には何人必要であるのか、一人の相談員が担当する計画相談の人数をどのように設定するのかなど、一定試算的なものも必要であろう。
- ・国の報酬改定や加算制度の創設、草津市相談支援体制強化補助金制度の積極的な活用、現時点で就業している相談員の専従化への取り組みなど、アイデアを出し合い相談体制の充実に向けて希望が見える報告書にしていこうという意見が出た。